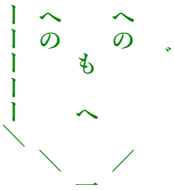


青人草

草取此炉

和王曰く



へへものへし
二二物の二し大
ハン物のソ・二二二ハ
パン物の祖・十八十八話
万物の祖・東和十話

東和

東和東・禾・ロ

東十ロ十小

二ワとこ

庭床

禾ノ十ハ

ム

ロ二二三

くり

東和庭床ムくり

庭床起

庭床十起屋根の家

東和古民家庭床起



十井の色葉字

青人草

発行 四三八一〇〇八六
つるばみ
郵便 磐田市見付二七八六
住所 〇五三八一三三三〇二七三
電話 〇五三八一三三三〇二七三
F X 〇五三八一三三三〇二七三
通信 ログス&nvb&biglobe&ne&scjp
編集 岩田修良
カナ ア@ ドレスドット

東和八話



ののさま
ほっこり



棟二三
ツ マ さ

東和二話



偉大



偉たはし
大まさる

「もへじ」の想ひ



鬼斬り

ののもへ

ののさま

ののさま

ほっこり

へへ

しし

二二二二

十八こり

ホこり

ほっこり

じじ

じ大

い大

偉大

いい

もへマ

東西比較

西洋に「クリスト」

イスラムに「アラ」

密教に「大日のらい」

和が国に「もへじの想ひ」

偉大な詞 と名付けました

私たちの国には

力を入れずして天地を動かす

そんな偉大な詞がありました

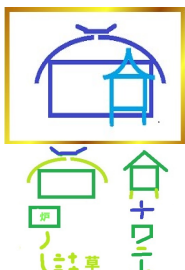
詞 || ロ二二・、一二二

|| ワ三二・ノ三

|| 和王・の三話

|| 和王の三話

万物の祖の化身



炉ノ草・東和 || 二し

炉の草・東和 || 十じ

炉の草・東和 || 十字

ののさま

ほっこり

偉大

炉草の聲の修正

『続草取此炉』



『偉大な詞』



四大の定義

四大 万物の構成要素

地・水・火・風

←
←
←



地面の『地』
雨水の『水』
発酵の『火』
大きな『風』

四大 大 四

二ノし ロノシ

蓋の二二炉の二二

蓋のナイ炉の十

蓋の無い炉の草

四大 蓋の無い炉の草

「平和」の定義

平和 禾・ロー・二ハ

し大・二二ノ・十話

四大・十ハの・十話

四大・東和の・十話

四大 蓋の無い炉の草

平和 蓋の無い炉の草（東和の十話）



「金」の定義

金 十ノ人十し

二二のくさ

口の草へ

炉の草



偉大

ほっこり

ののさま



偉大

ほっこり

ののさま



「医王」の定義

医王 コ転ノ・ハエ・十二

此炉の・くサ・十

此炉の・草・二二二二

此炉の・草・十八十八

此炉の・草・東和十話



偉大

ほっこり

ののさま



国旗の変化

『続草取此炉』

ほっこり ののさま

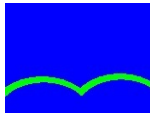


『偉大な詞』

ほっこり ↑ ののさま



尊取此炉 (音無)

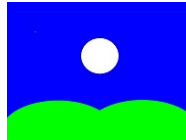


偉大



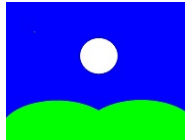
国旗三種

貫之私案



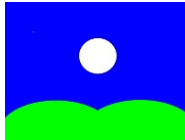
こののさま
ほっこり

尊徳・芭蕉・南無派私案



好望大地

岩田私案



こののさま
ほっこり
偉大

つるばみ登場

つるはみ || くぬぎの和名

西に自生する つるはみ || 精

東に自生する つるはみ || 櫟

つるはみ || 二↑ 精と櫟

つるはみ

つるばみ || 精と櫟

つるばみの解析

ば || し。、十、

|| 二二〇、十二

|| ころ、十

|| 此炉、草

み || フ十

|| フと

|| 音

つるばみ || つる・ばみ

|| 釣る・此炉の草音

|| 釣る・こののさま

ほっこり

偉大

み

へのへのもへじ

への
もへ
への
の || どんぐり (眼)
|| つるはみ
|| くぬぎ
へ || し (縦直し)
し

し . . . への の こへ
二二三・し し くぬぎの聲
十十八・二二三二くぬぎの聲
草 は・二こ二ハくぬぎの聲
草 は・二個庭 くぬぎの聲

和が国の庭王

西洋には「帝王」
和国には「庭王」
精 || 日ハ、王木
|| 庭、王木
|| 庭王、木
和が国の庭王 || 精

二個庭くぬぎ

庭王 || 精より
二個庭のくぬぎは
庭の精
隣の櫟
ところで
くぬぎの和名 || つるはみ
二つのくぬぎ || つるばみ
ところが
つるばみ || 此処の草音釣る・つるばみ

炉草の音色

ののさま ほっこり 偉大



二個庭くぬぎの木と葉

木の聲

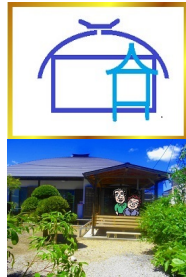
ののさま ほっこり



色葉
偉大



『平和の司令塔』



ののさま
ほっこり
偉大

平和 禾 十ロ 一ハ

|| 十ハノ 十ワ 一話

|| 東和の 十話 一話

ののさま ほっこり 偉大

ネット無き時代は ここが締めめ

天地を動かす『詞』

十井の三和字

あ||あ+阿+は

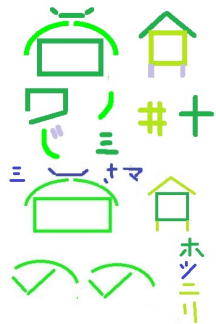
め||ま+江+は

は||き字||ら

な於||あ阿||や

た江||か伊||ま

||わ||



ののさま ほっこり || 高天の草

青人草

十井の三和字

『和たぐ新聞』や

『和ブログ』等々

筆者がパソコンで綴る文字は

一切が 十井の三和字 である

それは 前段で見た通り

和が国の万物の祖から生まれてゐた

その文字の音色は

推定『ののさま ほっこり』

これに伴ひ

青人草 ↓ 青人章

文字の姿

和たぐ新聞

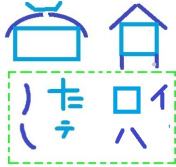
文字色 色葉
姿 縦の詩

和ブログ

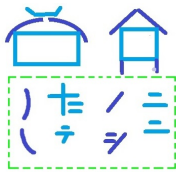
文字色 紺
姿 縦の詩

これも「東和」から生まれてゐる

和たぐ新聞



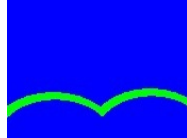
和ブログ



縦の詩・色文字の音色

事前準備

草取此焔



偉大 々々ワシ 大

々々和詩 しノ二

々々和詩 字の二

よって

草取此焔 偉大

締め の 聲

ののさま ほっこり 青人草

和たぐ新聞の

々々和詩目去る 草取此焔

和ブログの

々々和詩目去る 草取此焔

青人草

草取此焔

締め の 「詞」

詞 二二・一、ロ二ロ

しメ・イ ロハ二二

締め・色 葉八ハ

締め・色 葉八話

青人草

草取此焔

青人草 ののさま ほっこり

草取此焔 偉大

「偉大な詞」



在処 輕トラドア（左右）
詠み 青人草 ののさまほっこり

草取此炉
偉大

天皇 庭王

天皇 天 ・王・白

|| 二ハ一・王・ノ一ロ

|| 庭 ノ・王・の一ワ

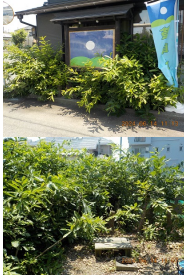
|| 庭の王の一話（庭の精）

|| ののさま

西 洋の帝王

和が国の庭王

ののさま ののさま



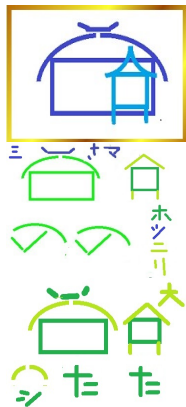
新国の名前 一

大和 || 十ハノ二ハ・ロ

|| 東和の二話・二二

|| 東和の二話・十ハ

|| 東和の二話・十話



大和 || 東和の二話・十話

ののさま

ほっこり

偉大

大和 二

大和 || し ノ二ロ・禾

|| 二二ノ二話・ハノ十

|| 十ハの二話・こ転ノ二二

|| 東和の二話・此炉の十

|| 東和の二話・此炉の草



こハ

++
草

大和 三

大和 禾 ・大ロ

|| し 十 ノノ・し ノニロ

|| 二二三二しノ・二二の十ワ

|| 二こ二ハ鶴の・十ハの十話

|| 二個庭 鶴の・東和の十話

ののさま ほっこり



偉 大



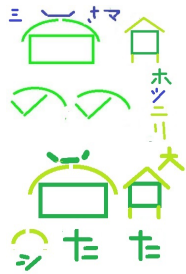
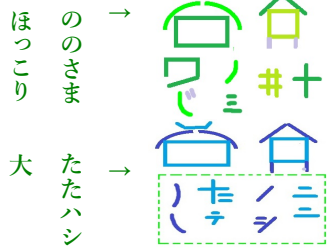
大和 四

大和 || 十 ロハノ・二ハ

|| 二二ロク ・二話

|| 十フログ ・二話

|| 和ブログ ・二話



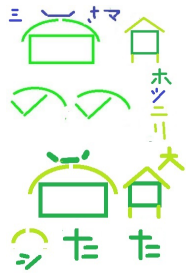
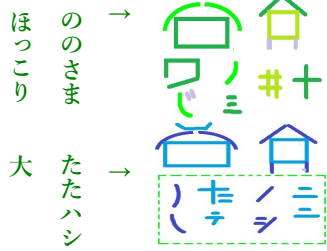
大和 五

大和 || 十ロ ハノ・二ハ

|| 和二二くし・二話

|| 和十こぐ紙・二話

|| 和たぐ紙・二話



補足説明

「十井の三和字」も

「縦の詩紺の字」も

「東和」の家から生まれてゐる…①

「字」が先か 「詩」が先か？

「字」があつて「詩」が生まる…②

①②より

十井の三和字 || ののさまほっこり

紺の字縦の詩 || 偉大

大和六偉大な詞

大和||ロ・十・大・ノハ

||二二二二・ハ二・ノハ

||十八十八・目し・の八

||東和十話・真字・の八

草取此炉

青人草

青人草

草取此炉

建国心話

新党 草取此炉

新国 大和

天皇 ののさま

基本政策

庭造り・家作り

土台 草取此炉 推奨

庭 庭に精 推奨

空地駐車場 隣は櫟 推奨

家 東和 推奨

ネット

入力言語 十井文字 推奨

和たぐ新聞 無料 推奨

和ブログ 無料 推奨

医療

炉草から育つ好気性の菌類研究

腰の温熱療法の研究

外交・平和国防論

外交の基軸

「朝鮮半島」と「琉球」が基軸

(幕末の幕府の想ひを継承)

国防

「四大の砲弾」から撃たれる

「言草」の「言弾」を

平和勢力の「最高の言弾」とする

無血鶴鳴

西洋の暴力革命でも

印度の非暴力の抵抗運動でもなく

静かなる「平和鶴鳴」が土台

鶴鳴の担ひ手は

庭鶴…ののさま 葉…偉

隣鶴…ほっこり 葉…大

あとがき

どうしたら「平和」が来るのか

それを「平和」の文字から探った

反戦プラカードと反戦デモでは

平和は やって来ない

従来の平和運動では戦争は止められない

それは 歴史が証明してゐる

だから 新しい平和運動の開発が急務

開発した新しい平和運動が以下

平和||ロノ十・しノ十一ハ

||炉の二二・二二ノ・二二一話

||炉の十十・十ハノ・十ハ一話

||炉の草・東和の・十話一話

